

2026年

2026年7月6日

北海道地方 6月の天候

札幌管区气象台
気象防災部 予報課

概況

— 高気圧に覆われやすく多照。一方で発達した低気圧の通過により多雨。 —

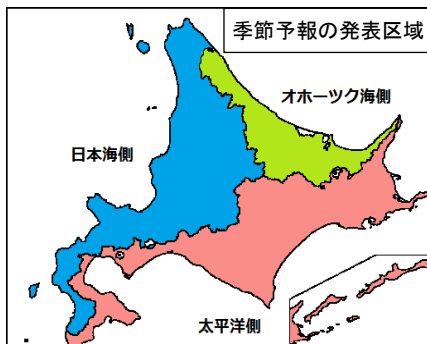
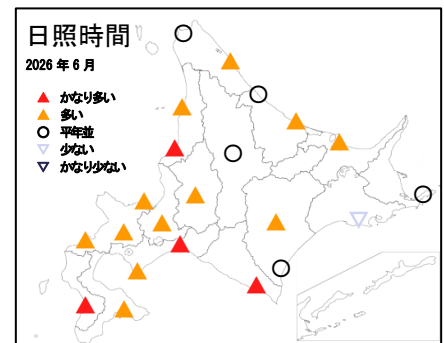
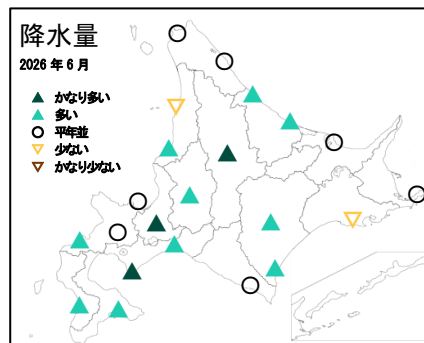
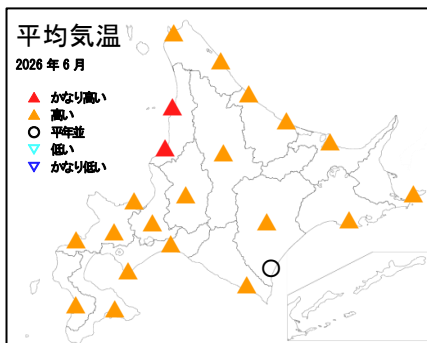
6月は、中旬を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多く、日照時間は多かった。一方で、発達した低気圧が北海道付近を通過することが多かったため、日本海側と太平洋側の降水量は多かった。また、月平均気温は高かったが、上旬と下旬にオホーツク海高気圧の影響で冷たい空気が流れ込む日もあって、気温の変動が大きかった。

上旬：高気圧に覆われる日もあったが、8日から9日にかけて発達した低気圧や湿った空気の影響でまとまった雨となったため、北海道地方の降水量は多く、日本海側とオホーツク海側でかなり多かった。暖かい空気に覆われやすく、気温は日本海側と太平洋側で高かったが、オホーツク海高気圧の影響で冷たい空気が流れ込みやすかったオホーツク海側では平年並だった。

中旬：高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、北海道地方の降水量は少なく、日照時間はかなり多かった。暖かい空気に覆われやすかったため、北海道地方の気温は高かった。

下旬：高気圧に覆われる日もあったが、発達した低気圧が北海道付近を通過することが多かったため、降水量は北海道地方で多く、太平洋側でかなり多かった。気温は日本海側では高かったが、オホーツク海高気圧の影響で冷たい空気が流れ込みやすい日があったため、オホーツク海側と太平洋側で平年並だった。

階級分布図



※ 本資料では、次のような階級を用いる。「低い（少ない、小さい）」「平年並」「高い（多い、大きい）」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めている。また、値が1991～2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い（かなり少ない、かなり小さい）」「かなり高い（かなり多い、かなり大きい）」と表現する。

※ 概況欄における気温の高い・低い、降水量と日照時間の多い・少ない、積雪深の大きい・小さいという記述は、前項の階級を基準とする。かなり高い・かなり低い、かなり多い・かなり少ない、かなり大きい・かなり小さいについても同様。

※ データは速報値であり、後日変更される場合がある。

月の統計値(地域平均)

	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+1.1	+	124	+	119	+
日本海側	+1.2	+	128	+	121	+
オホーツク海側	+1.1	+	114	0	117	+
太平洋側	+0.9	+	125	+	117	+

旬の統計値(地域平均)

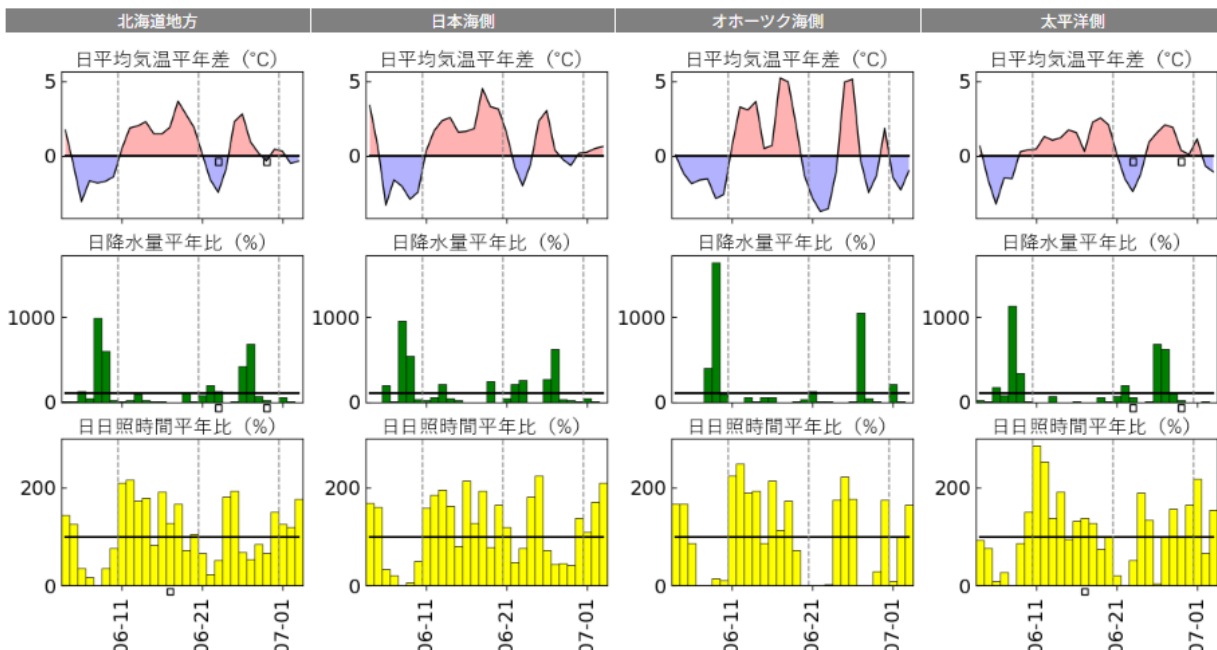
上旬	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+0.9	+	196	+	114	0
日本海側	+1.0	+	189	++	112	0
オホーツク海側	+1.0	0	234	++	119	0
太平洋側	+0.9	+	187	+	116	0

中旬	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+2.0	+	31	-	156	++
日本海側	+2.3	++	55	-	160	++
オホーツク海側	+2.3	+	19	-	156	++
太平洋側	+1.4	+	9	--	150	+

下旬	平均気温		降水量		日照時間	
	平年差(°C)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+0.2	0	170	+	90	0
日本海側	+0.4	+	154	+	95	0
オホーツク海側	-0.2	0	125	+	77	0
太平洋側	+0.3	0	213	++	90	0

注)・数値は、地域内の气象台等(日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点)の観測値の平年差または平年比の平均を示す。階級の++は平年よりかなり高い(多い)、+は平年より高い(多い)、0は平年並、-は平年より低い(少ない)、--は平年よりかなり低い(少ない)を示す。

気象経過図



注) グラフ横軸(日付)の□、▲、×は、該当する日の地域平均データ作成においてそれぞれ、欠測となった地点を含む場合、欠測となった地点が一定割合以上の場合、全ての地点が欠測の場合であることを示す。

月の統計値（地点別）

官署名	平均気温			降水量			日照時間		
	本年 °C	平年差 °C	階級	本年 mm	平年比 %	階級	本年 h	平年比 %	階級
札幌	18.5	+1.5	+	119.0	197	++	211.0	117	+
稚内	13.8	+0.8	+	62.5	95	0	175.9	114	0
北見枝幸	13.4	+1.0	+	89.5	109	0	166.8	119	+
旭川	17.6	+0.6	+	131.5	184	++	192.7	109	0
留萌	16.8	+1.4	++	71.5	127	+	220.2	127	++
羽幌	17.2	+1.7	++	42.5	63	-	226.9	128	+
岩見沢	17.6	+1.3	+	89.5	129	+	203.1	117	+
倶知安	16.8	+1.2	+	61.5	103	0	206.9	122	+
小樽	17.3	+1.3	+	54.5	98	0	214.2	126	+
寿都	16.7	+1.3	+	66.0	109	+	195.6	115	+
網走	14.5	+1.0	+	78.5	115	0	198.6	115	+
紋別	14.1	+1.1	+	86.0	123	+	187.1	121	+
雄武	13.4	+1.1	+	81.5	109	+	163.9	112	0
釧路	13.0	+0.8	+	56.0	49	-	113.8)	90	-
根室	11.8	+0.9	+	88.5	86	0	148.1	109	0
帯広	15.9	+0.7	+	113.5	140	+	176.7	119	+
広尾	12.8	+0.1	0	185.0	124	+	116.1	92	0
室蘭	15.2	+0.8	+	215.5	198	++	184.3	118	+
苫小牧	15.1)	+1.1	+	158.5)	142	+	162.1	135	++
浦河	15.0)	+1.5	+	74.5)	78	0	226.0	156	++
函館	17.1	+0.9	+	146.5	184	+	204.4	118	+
江差	17.5	+1.1	+	137.5	175	+	221.9	136	++

- 注) ・地域内の气象台等（日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点）の数値。
 ・平年値は1991～2020年の30年間の平均値。
 ・階級の++は平年よりかなり高い(多い)、+は平年より高い(多い)、0は平年並、-は平年より低い(少ない)、--は平年よりかなり低い(少ない)を示す。
 ・「) 」付きの値は欠測を含む。「] 」付きの値は一定の割合以上の欠測を含む。

月統計値の順位値更新一覧（第3位まで）

期間	要素	順位	地点	本年	平年差(比)	これまでの1位(年)	統計開始年
6月	月間日照時間(多い)	第2位	浦河	226.0 h	156 %	231.5 h(1937)	1927

- 注) ・地域内の气象台等（日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点）の数値。

お問い合わせ先

札幌管区气象台 気象防災部 予報課
TEL (011) 676-5025